

ライフサイクル・コストイングの体系に関する一考察

- ドイツ・ライフサイクル・コストイング (Lebenszykluskostenrechnung)

を視野に入れて -

岡野 憲治 (松山大学)

序文

ライフサイクル・コストイングの多様な内容を、一般的に説明できる理論的な枠組みを構築することが、われわれの研究課題である。ドイツ・ライフサイクル・コストイング (Lebenszykluskostenrechnung) の研究は、この課題に取り組むための貴重な素材を与えてくれる。

この報告では、以下の構成に基づいて、アメリカ・イギリスのライフサイクル・コストイングに加えて、ドイツ・ライフサイクル・コストイングに特別な焦点が置かれる。

第1章 文献研究：ライフサイクル・コストイングの体系

第1節 ブランチャ - ドの所説 - Blanchard -

第2節 ライフサイクル・コストイングの要素・計算式・構造 - Earles -

第3節 ライフサイクル・コストイング：政府調達の方法 - Seldon -

第4節 ライフサイクル・コストイング：技法・モデル・適用 - Dhillon -

第2章 行政機関のライフサイクル・コストイング - アメリカとイギリスの展開 -

第3章 ドイツ・ライフサイクル・コストイング (Lebenszykluskostenrechnung) の展開

第1節 ライフサイクル・コストイング (Life Cycle Costing) の伝播とライフサイクル・コスト (Lebenszykluskosten) 概念の研究 - Wübbenhorst の所説 -

第2節 ライフサイクル・コスト (Life Cycle Cost) に関するシンポジウム

第3節 CAM-I 研究の影響

第4節 製品ライフサイクルの計算 (Produktlebenszyklusrechnung) - 生産者ライフサイクル・コストイングの展開 -

1 ライフサイクル指向の製品コントロール - リング - Back - Hock の所説 -

2 Lebenszykluskostenrechnung - 原価計算の動態化と動的コスト・マネジメント : Fröhling の所説 -

3 製品ライフ・サイクル・コストマネジメント (Product-Life-Cycle-Cost Management) - Rückle / Klein モデル -

4 製品ライフサイクル指向の計画計算とコントロール計算 - Reichmann / Fröhling

モデル -

5 製品ライフサイクル マネジメント(Product Life Cycle Management) -
Siegwart / Senti モデル -

6 ライフサイクルの計算(Lebenszyklusrechnung) - 戦略的プロジェクトのコン
トロ - リング手段 : Riezler の所説 -

7 Lebenszykluskostenrechnung - Zehbold の所説 -

8 Produktlebenszykluskostenrechnung - Baden モデル -

9 ライフサイクル指向のコスト・収益マネジメント - Jörg の所説 -

第5節 製品ライフサイクル・コストイング(Product Life Cycle Costing) - Life
Cycle Costing と Target Costing の結合 -

1 タ - ゲット・コストイングと製品ライフサイクル・コストイング - Coenenberg
モデル -

2 製品ライフサイクル・コストイング(Product Life Cycle Costing) - 戦略的
コスト・マネジメントの手段 : Kremin - Buch モデル -

3 ライフサイクル・タ - ゲット・コストイング(Life Cycle Target Costing)
- Target Costing とライフサイクル指向の統合 : Schmidt モデル -

第6節 ドイツの実態調査

1 1986年の調査 - 建設プロジェクトのライフサイクル・コストイング -

2 1996年の調査 - ドイツのコスト・マネジメント : Life Cycle Costing -

3 1988年の調査 - ドイツ産業における Produktlebenszyklusrechnung -

第4章 ライフサイクル・コストイングの体系 - むすびにかえて -